

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪ウェディング&ホテル・観光専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	ブライダル総合科 (昼間Ⅰ部)	夜・通信	1,620	160	
	ブライダル総合科 (昼間Ⅱ部)	夜・通信	1,620	160	
文化・教養 専門課程	トラベル&レジャー科 (昼間Ⅰ部)	夜・通信	1,800	160	
文化・教養 専門課程	ホテル&リゾート科 (昼間Ⅰ部)	夜・通信	2,340	240	
	ホテル&リゾート科 (昼間Ⅱ部)	夜・通信	2,340	240	
文化教養 専門課程	ホスピタリティ科	夜・通信	1,140	90	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページにて公表 https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/img/12_teachers_experience.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪ウェディング&ホテル・観光専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページにて公表 https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/img/14_board_member.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
(備考) 2020年4月1日までに、複数の学外者である理事の選任を確実に実施する。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪ウェディング&ホテル・観光専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。

新入生においては学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。

進級生においては学生便覧にて、進級前の進級ガイダンスにて学生に説明、本校ホームページにて公表。

<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/img/13_education01.pdf</p> <p>https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/img/13_education02.pdf</p> <p>https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/img/13_education03.pdf</p> <p>https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/img/13_education04.pdf</p> <p>https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/img/13_education05.pdf</p> <p>https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/img/13_education06.pdf</p> <p>https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/img/13_education07.pdf</p> <p>https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/img/13_education08.pdf</p> <p>https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/img/13_education09.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>全学科、各学期末の定期試験にて学修成果の評価を行ない、単位認定している。評価については定期試験素点+平常点（日頃の授業内評価）、及び出席状況を加味し、100点満点（60点以上が合格）で評価を行う。</p> <p>●試験・技術評価 40%、出席評価点 50%、平常評価点 10%</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>既に全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位 4 分の 1 の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り</p> <p>出席率 66.7%以上、評価点数 100～90 点 : S(4.0) 合格 出席率 66.7%以上、評価点数 89～80 点 : A(3.0) 合格 出席率 66.7%以上、評価点数 79～70 点 : B(2.0) 合格 出席率 66.7%以上、評価点数 69～60 点 : C(1.0) 合格 出席率 66.7%以上、評価点数 59～0 点 : F(0.0) 不合格</p> <p>上記の指標を学生便覧にて学生に公表。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/img/2_GPA.pdf
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。 また、卒業認定に関する方針は下記の本校ホームページにて公表している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/img/2_judgment_criteria.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪ウェディング&ホテル・観光専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/img/8_finance.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/img/8_finance.pdf
財産目録	https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/img/8_finance.pdf
事業報告書	https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/img/8_finance.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/img/8_finance.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	ブライダル総合科 (昼間I部)	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	540 時間	1,860 時間	時間	時間	時間
			2,370 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		96人	0人	4人	16人	19人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。 新入生においては学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。 進級生においては学生便覧にて、進級前の進級ガイダンスにて学生に説明、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
（概要）全学科、各学期末の定期試験にて学修成果の評価を行ない、単位認定している。 評価については定期試験素点+平常点（日頃の授業内評価）、及び出席状況を加味し、100点満点（60点以上が合格）で評価を行う。 ●試験・技術評価 40%、出席評価点 50%、平常評価点 10%

卒業・進級の認定基準
(概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
(概要) クラス担任、副担任、留学生担当などを配置し、個別面談、指導を通して学生生活の支援。その他、スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学習に対して困難な学生をサポートしている。場合によっては保護者面談も実施。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
31人 (96.9%)	0人 (0%)	29人 (93.5%)	2人 (6.5%)
(主な就職、業界等) ブライダル業界、美容業界、ジュエリー業界			
(就職指導内容) 業界研究、自己分析、履歴書添削、メイク講座、身だしなみ講座、SPI 試験対策、面接指導、インターシップ研修、就職個別面談、合同企業説明会等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) アシスタントウェディングプランナー、フラワー装飾技能士、シェウウエムラメイクアップ検定、サービス接客、コミュニケーションスキルアップ検定 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
78人	9人	11.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、家庭事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 費分納措置及び教育ローンの提案、学生サポートアンケートをもとに定期的・随時の面談、進路変更支援、留学生センター、スチューデントサービスセンター (カウンセラー) との連携。保護者会の開催と保護者面談等による連携。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	ブライダル総合科 (昼間Ⅱ部)		—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間／単位	540 時間	1,860 時間	時間	時間	時間
			2,370 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	94人	0人	4人	16人	19人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) 全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。</p> <p>新入生においては学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。</p> <p>進級生においては学生便覧にて、進級前の進級ガイダンスにて学生に説明、本校ホームページにて公表。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要) 全学科、各学期末の定期試験にて学修成果の評価を行ない、単位認定している。</p> <p>評価については定期試験素点+平常点(日頃の授業内評価)、及び出席状況を加味し、100点満点(60点以上が合格)で評価を行う。</p> <p>●試験・技術評価 40%、出席評価点 50%、平常評価点 10%</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>クラス担任、副担任、留学生担当などを配置し、個別面談、指導を通して学生生活の支援。その他、スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学習に対して困難な学生をサポートしている。場合によっては保護者面談も実施。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (%)	0人 (0%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 卒業生がおりません。			
(就職指導内容) 業界研究、自己分析、履歴書添削、メイク講座、身だしなみ講座、SPI 試験対策、面接指導、インターシップ研修、就職個別面談、合同企業説明会等			

(主な学修成果 (資格・検定等)) アシスタントウェディングプランナー、フラワー装飾技能士、シェウウエムラメイクアップ検定、サービス接遇、コミュニケーションスキルアップ検定 他 (備考) (任意記載事項)
--

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	3人	7.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、家庭事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 費分納措置及び教育ローンの提案、学生サポートアンケートをもとに定期的・随時の面談、進路変更支援、留学生センター、スチューデントサービスセンター(カウンセラー)との連携。保護者会の開催と保護者面談等による連携。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	トラベル&レジャー科(昼間I部)	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	900 時間	1,740 時間	時間	時間	時間
2,550 単位時間							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		16人	6人	3人	8人	11人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。 新入生においては学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。 進級生においては学生便覧にて、進級前の進級ガイダンスにて学生に説明、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
(概要)全学科、各学期末の定期試験にて学修成果の評価を行ない、単位認定している。 評価については定期試験素点+平常点(日頃の授業内評価)、及び出席状況を加味し、100点満点(60点以上が合格)で評価を行う。 ●試験・技術評価40%、出席評価点50%、平常評価点10%
卒業・進級の認定基準

(概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。

学修支援等

(概要)
クラス担任、副担任、留学生担当などを配置し、個別面談、指導を通して学生生活の支援。その他、スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学習に対して困難な学生をサポートしている。場合によっては保護者面談も実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	15人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 旅行業界、航空業界、ホテル業界			
(就職指導内容) 業界研究、自己分析、履歴書添削、メイク講座、身だしなみ講座、SPI 試験対策、面接指導、インターシップ研修、就職個別面談、合同企業説明会等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国内旅程管理主任者、地理検定、マナープロトコール、ホテルビジネス実務検定、ユニバーサルマナー、AXESS、サービス介助士、手話技能検定 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	2人	7.7%
(中途退学の主な理由) 家庭事情、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 費分納措置及び教育ローンの提案、学生サポートアンケートをもとに定期的・随時の面談、進路変更支援、留学生センター、スチューデントサービスセンター（カウンセラー）との連携。保護者会の開催と保護者面談等による連携。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	専門課程	ホテル&リゾート科 (昼間I部)	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,700 単位時間/単位	1,050 時間	2,340 時間	時間	時間	時間
			3,060 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	62人	5人	3人	6人	9人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。 新入生においては学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。 進級生においては学生便覧にて、進級前の進級ガイダンスにて学生に説明、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
(概要) 全学科、各学期末の定期試験にて学修成果の評価を行ない、単位認定している。 評価については定期試験素点+平常点(日頃の授業内評価)、及び出席状況を加味し、100点満点(60点以上が合格)で評価を行う。 ●試験・技術評価 40%、出席評価点 50%、平常評価点 10%
卒業・進級の認定基準
(概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
(概要) クラス担任、副担任、留学生担当などを配置し、個別面談、指導を通して学生生活の支援。その他、スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学習に対して困難な学生をサポートしている。場合によっては保護者面談も実施。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	3人 (60%)	2人 (%)
(主な就職、業界等) ホテル業界			
(就職指導内容) 業界研究、自己分析、履歴書添削、メイク講座、身だしなみ講座、SPI 試験対策、面接			

指導、インターシップ研修、就職個別面談、合同企業説明会等
(主な学修成果(資格・検定等)) マナープロトコール、ホテルビジネス実務検定、ユニバーサルマナー、AXESS、サービス介助士、手話技能検定、コミュニケーションスキルアップ検定 他
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32人	1人	3.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、家庭事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 費納分措置及び教育ローンの提案、学生サポートアンケートをもとに定期的・随時の面談、進路変更支援、留学生センター、スチューデントサービスセンター(カウンセラー)との連携。保護者会の開催と保護者面談等による連携。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	ホテル&リゾート科 (昼間Ⅱ部)	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,700 単位時間/単位	1,050 時間	2,340 時間	時間	時間	時間
			3,060 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
0人		0人	0人	3人	6人	9人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 在籍者なしの為、授業は行っていない
成績評価の基準・方法 (概要) 在籍者なし
卒業・進級の認定基準 (概要) 在籍者なし

学修支援等 (概要) 在籍者なし

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 在籍者なしの為、就職者はいない			
(就職指導内容) 在籍者なし			
(主な学修成果(資格・検定等)) 在籍者なし			
(備考) (任意記載事項) 2019年度現在、在籍者なし(募集継続中)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	専門課程	ホスピタリティ科		—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1,800 単位時間/単位	660 時間	1,800 時間	時間	時間	時間
			2,580 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	4人	0人	2人	5人	8人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

<p>(概要) 全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。 新生入生においては学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。 進級生においては学生便覧にて、進級前の進級ガイダンスにて学生に説明、本校ホームページにて公表。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p>
<p>(概要) 全学科、各学期末の定期試験にて学修成果の評価を行ない、単位認定している。 評価については定期試験素点+平常点(日頃の授業内評価)、及び出席状況を加味し、100点満点(60点以上が合格)で評価を行う。 ●試験・技術評価 40%、出席評価点 50%、平常評価点 10%</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要) クラス担任、副担任、留学生担当などを配置し、個別面談、指導を通して学生生活の支援。その他、チュード学生サービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学習に対して困難な学生をサポートしている。場合によっては保護者面談も実施。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ブライダル・ホテル業界を想定			
(就職指導内容) 業界研究、自己分析、履歴書添削、メイク講座、身だしなみ講座、SPI 試験対策、面接指導、インターシップ研修、就職個別面談、合同企業説明会等			
(主な学修成果(資格・検定等)) アシスタントウェディングプランナー、サービス接客、マナープロトコール、ホテルビジネス実務検定 他			
(備考) (任意記載事項) 2019年4月学科設置			

②学校単位の情報 a)

「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ブライダル 総合科 (昼間Ⅰ部)	100,000 円	650,000 円	500,800 円	
ブライダル 総合科 (昼間Ⅱ部)	100,000 円	650,000 円	500,800 円	
トラベル&レジャー科 (昼間Ⅰ部)	100,000 円	600,000 円	500,800 円	
ホテル&リゾート科 (昼間Ⅰ部)	100,000 円	580,000 円	570,800 円	
ホテル&リゾート科 (昼間Ⅱ部)	100,000 円	580,000 円	570,800 円	
ホスピタリティ科 (夜間部)	100,000 円	350,000 円	325,800 円	
修学支援 (任意記載事項)				
留学生奨学金、兄弟姉妹学費免除制度、分納・延納相談				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 自己点検・評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行うため、卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者と共に業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を置く。評価委員会は、「理念・目的・育成人材像」、「学校運営」「事業計画」「運営組織」「人事・給与制度」「意思決定システム」「情報システム」「教育活動」「教育方法・評価等」「教育過程」「成績評価・単位認定等」「就職等進路」などの自己点検項目のチェックと、評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とし、評価結果の活用としては、毎年度末に実施し、教務会議、運営会議を実施し、学校長の認可を受け改善制度などを次年度に実施していく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 LLB	2019 年 4 月 1 日 ～ 2021 年 3 月 31 日	卒業生代表
ブライダル総合科 在校生 保護者	2019 年 4 月 1 日 ～ 2021 年 3 月 31 日	保護者代表
四條畷学園高等学校 校長代理 進路指導部長	2019 年 4 月 1 日 ～ 2021 年 3 月 31 日	高等学校関係者
"大阪市西区堀江連合振興町会 第 5 振興町会 (三友会) 会長	2019 年 4 月 1 日 ～ 2021 年 3 月 31 日	地域関係者

日

ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド 総支配人	2019年4月1日～ 2021年3月31日	業界関係者
公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会 理事社	2019年4月1日～ 2021年3月31日	業界関係者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/img/9_self_evaluation.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.jikei-hospitality.ac.jp/school/public_info/